

山行報告書

作成: 2006年9月19日 愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	カムイエクウチカウシ山(1979m) [北海道日高山脈]	目的[方法]	200名山の難関に挑戦 沢登
期間	2006年9月7・8・9・10日	形態	テント泊(山中2日)
参加人数	4人		

行動記録:

9/7(木) 雨

自宅(500) == 中部国際空港(545,730) == 新千歳空港(910,1030) == 中札内(1630,1700) == 温泉「福祉の里」(更別町)(1730,1900) = (中札内で夕食) = 札内ヒュッテ TS1(2040)

9/8(金) 曇り時々霧雨

TS1(415) == ゲート(420) -- 七ノ沢出合(545,600) -- 八ノ沢出合(750) -- 三股手前 850m地点 TS2(940)

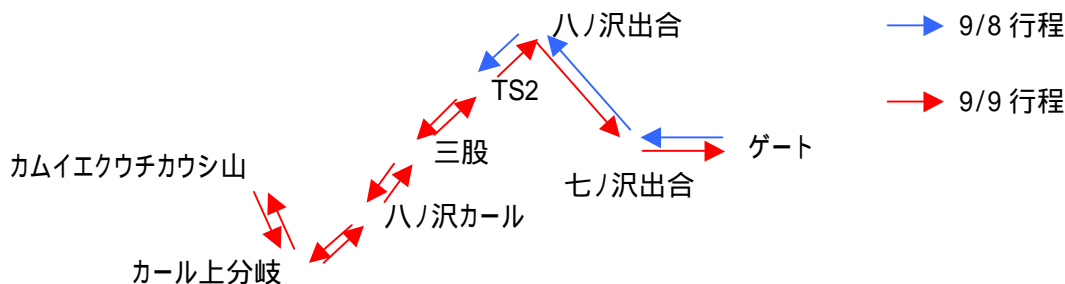
9/9(土) 曇り時々晴れ

TS2(540) -- 三股(610) -- 八ノ沢カール(745,750) - カール上分岐(820) -- カムイエクウチカウシ山(915,940) -- 八ノ沢カール(1045,1100) -- 三股(1250) - TS2(1325,1410) - 八ノ沢出合(1515,1525) -- 七ノ沢出合(1715,1730) -- ゲート(1900,1910) == 中札内スーパー買出し(1940,2000) == 温泉「福祉の里」(更別町)(2010,2100) == 札内ヒュッテ TS3(2130)

9/10(日) 曇り時々雨

TS3(700) == 襟裳岬 == 樽前山下見 == 新千歳空港(1730,2030) == 中部国際空港(2200,2240) == 自宅(2330)

概念図:



日誌:

9/7 千歳に着くと雨。北海道初日はこれで1勝4敗。私が北海道の雨男のようだ。八ノ沢出合でテントの予定だったが、雨なのでゲート直前の札内ヒュッテで泊まる。小屋は無料だが結構快適であった。先に宴会をやっていた人から情報を得る。次の日に、日帰りで行く強行しようと思ったが不可能。また八ノ沢出合でテントでは、次の日が時間的に苦しいので、三股手前でテントを張るべきとのこと。また沢は広いので少しの雨では増水はたいしたことはないそうだ。

9/8 ゲートまでの道は2車線舗装路で快適。広い道を歩き、七ノ沢出合から溪流シューズに履き替える。この先登山靴を持って行ったが結局不要。八ノ沢出合はテント8張りくらい可能。うっかりしていると気づかずに八ノ沢に入ってしまうのでポイントチェックは要注意。三股手前30分のところに、テント2張り可能な場所。雨もばらついていたので、今日はここまで。

9/9 予想に反して、まずまずの天気。三股は、真ん中の滝の右側から急登に入る。ここからは、赤テープを忠実にたどること。標高差500mの連続する滝を高巻きするが、HPに書いてあるほどびっくりするような高度感はない。難しいところはロープがあるが(5箇所くらい)、岩を少しかじっていれば頼らなくても通過は可能な程度。急登が終わると八ノ沢カールにでる。ここはナキウサギも居てすごくいいところ。ただし、ヒグマの糞や掘り起こしの痕もたくさんあり要注意。カールを左方向に上がり、分岐で右に行くと待望の山頂。手前では、晴れ間も出て憧れのカムイエクウチカウシ山を見ることが出来た。帰りは三股の滝を慎重に下る。途中間違えやすいところがあるので、テープをよくチェックのこと。テントを回収してゲートに着いたのは19時で真っ暗だった。忠告どおり三股手前にテントを張ってよかった。下山後は中札内のスーパー(結構大きく21時まで営業)で買出し。5kmほど離れた、更別町の温泉「福祉の里」(350円22時まで)に入浴。再び札内ヒュッテで宴会。

9/10 襟裳岬を観光。店が2軒、灯台以外は確かに何も無い。襟裳岬の歌がガンガンかかっていた。樽前山を下見して、支笏湖温泉で焼きプリンを食べて空港へ。

(参考)今回、初日に八ノ沢出合まで行く予定でしたが、千歳からでは時間的にかなり無理がありました。朝、羽田空港から帯広空港に降り、その日に三股手前まで入れば、1泊2日で登頂できます。

感想:

200名山の難関の山。眺めてよし、登ってよしの一等三角点の山。まさにその通りでした。天気予報が芳しくなく、コースもかなり難しそうだったので登頂は半ばあきらめてが、登ることができ頂上では嬉しさのあまり三角点に抱きついてしまいました。岩・沢をかじって天気に恵まれれば登頂できます。皆様にもお勧めします。